

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0138	交通安全対策経費					01	02	01	15	148	51
	事業名	12	犯罪や交通事故を未然に防ぐ	所属	100100	人権生活環境部市民生活課	連絡先(記入者) 服部 禎亮 22 - 9638					

概要	事業概要	四期の交通安全運動期間における啓発活動をはじめとした各事業を関係行政機関や地域団体等との協働により実施する。伊賀鉄道等の市設置の駅前駐輪場の管理及び放置自転車等の撤去の実施。月1回の交通事故相談の実施。						事業期間				
	根拠法令・要綱等	交通安全対策基本法、伊賀市交通安全条例、自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、伊賀市自転車等の放置防止及び適正な処理に関する条例				審議会・委員会等		伊賀市交通安全対策会議				
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号			
	対象(誰を、何を)	伊賀市住民、交通事故の被害者及び加害者				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値	
	成果(どうする)	高齢者等に対して交通安全教室を実施することで、交通安全に対する意識、マナーについての啓発を進めることができる。駅前等の放置自転車撤去等により、歩行者・交通弱者の安全を図ることができる。また、交通事故相談実施により被害者、加害者の不安を和らげる。										

H24実施内容
全国交通安全運動、交通安全県民運動期間にあわせ、街頭啓発・啓発用チラシの配布・回覧等啓発運動の実施。
伊賀市交通安全実践教室を高齢者を対象に実施。
市内新入学児童に対し、交通安全パンフレットを配布し、啓発を行う。
毎月1回交通事故相談を実施。
放置自転車対策として上野丸之内、伊賀神戸駅、伊賀上野駅、桑町駅前、青山駅前、上津駅前自転車等駐車場の管理運営業務として放置自転車等に対する啓発・撤去・保管・返還業務を実施。

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
			目標	実績	目標	実績			
活動指標	交通安全実践教室開催数	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	上野自動車学校へ委託し実施している。	
成果指標	交通安全実践教室参加人数	人	45.0	34.0	45.0	28.0	45.0	45.0	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額			
		[収入]	使用料・手数料								
	国費(補助率)										
	県費(補助率)	8,938								交通安全対策事業交付金	
	地方債										
	その他	65	94	42	42	42	42	42	42	交通安全対策事業基金利子	
	合計(A)	9,003	94	42	42	42	42	42	42	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	事業費	報酬	24	0	90	90	90	90	90	H24決算	
		報償費	30	30	60	60	60	60	60	・交通安全運動啓発物品等購入(消耗品費)	
		旅費	1	0	2	2	2	2	2	329,037円	
		需用費	707	741	920	920	920	920	920	・自転車等駐車場管理委託料 1,687,000円	
		役務費	32	5	65	65	65	65	65	・自転車等駐車場土地借上料 1,011,000円	
		委託料	1,875	1,876	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980		
		使用料及び賃借料	1,065	1,064	1,014	1,014	1,014	1,014	1,014		
		備品購入費	53	40	74	74	74	74	74		
		積立金	9,003	94	42	42	42	42	42		
		公課費	0	0	9	9	9	9	9		
		その他事務経費									
	小計(B)	12,790	3,850	4,256	4,256	4,256	4,256	4,256	4,256	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
	人件費	正規職員	人数	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人		
			人件費	2,841	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数								
			人件費								
	小計(C)	2,841	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889	2,889		
	合計(D=(B+C))	15,631	6,739	7,145	7,145	7,145	7,145	7,145	7,145	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	6,628	6,645	7,103	7,103	7,103	7,103	7,103	7,103		
	(うち繰越金)										
	※前年度比	—	17	458	0	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額										

必要性	6. 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
交通安全に対する意識、マナーの低下を招き、高齢者や子どもの交通人身事故件数の増加が懸念される。	やや遅れ		交通安全実践教室の参加者数が減少していることから、幅広く参加してもらえるよう、参加要請方法等を検討する必要がある。
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	○ 委託・指定管理(公募・競争)	○ 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	○ 委託・指定管理(非公募・随意)	○ 直接実施(契約・交付事務を除く)	駅前駐輪場管理業務をシルバー人材センターへ委託。交通安全教室を上野自動車学校へ委託。
昨年度記載した改善策	他の機関で実施する教室や出前講座の斡旋につとめ、「交通安全」に触れる機会や参加数の増加を図る。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 市内各機関、団体等での交通安全関係事業等の情報の一元化により、市民の各事業への参加機会を拡げるため、交通安全推進協議会の設立に向けて取り組んだ。
現時点における課題及び課題に対する改善策	市内各団体・企業・行政機関等で実施される交通安全関連事業の情報共有、相互協力等を推進するため、交通安全推進協議会の設立する。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	大橋久和	現状維持	市内で実施されている交通安全関係事業の情報提供と参加機会を拡充し、市民の交通安全意識の浸透を図るため、交通安全推進協議会の設立が必要である。

コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分 コード	会計 01	款 02	項 01	目 15	細目 148	細々目 51
事業名	0139 交通安全対策経費										
基本施策	12	犯罪や交通事故を未然に防ぐ	所属	コード	名称	連絡先(記入者)					
				753000	青山支所住民福祉課 人権生活環境係	円界 素史 52 - 3227					

事業概要	青山町駅前自転車等駐車場458.80㎡(約350台)及び伊賀上津駅前自転車等駐車場182.58㎡(約50台)を設置し、街の美観と良好な生活環境の保持を図り、管理運営を行う。	事業期間					
		平成	16	年度	～	平成	年度
根拠法令・要綱等	伊賀市自転車等駐車場条例、伊賀市自転車等の放置防止及び適正な処理に関する条例	審議会・委員会等					
補助金支出	無 ※支出“有”の場合要綱を記入	分掌事務番号					
		14	2				
対象(誰を、何を)	公共交通機関利用者及び送迎者、近鉄青山町駅及び伊賀上津駅周辺住民	※口 対象 件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
成果(どうする)	近鉄青山町駅前及び伊賀上津駅に自転車等駐車場を設置することにより、公共交通機関利用者の利便が図ることができ、美観を保持することにも繋がる。						
H24 実施 内容	市民の利便に資するための場であることを認識し、街の美観と良好な生活環境の保持を図るべく、自転車等駐車場の管理委託及び放置自転車の撤去措置等を実施した。						

	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H23	H24	H25	H26	
活動指標	1日当りの駐輪場利用台数	台	目標 120.0 実績 114.0	目標 120.0 実績 115.0	120.0	120.0	確認台数合計÷清掃実施日数
成果指標	駐輪場の年間整理清掃回数	日	目標 192.0 実績 186.0	目標 192.0 実績 187.0	192.0	192.0	シルバー人材センターへの委託に基づく清掃日数

	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	消耗品費	14	30	30	30	30	30	30	青山町駅機内賃借料 68,850円×12ヶ月＝ 826,200円 伊賀上津駅機内賃借料 27,450円×12ヶ月＝ 329,400円	
	燃料費		8	8	8	8	8	8		
	光熱水費	9	10	10	10	10	10	10		
	通信運搬費			4	4	4	4	4		
	土地建物借上料	1,156	1,156	1,156	1,156	1,156	1,156	1,156		
	その他事務経費									
	小計(B)	1,179	1,204	1,208	1,208	1,208	1,208	1,208		特記事項記入欄(有資格者の状況等)
人件費	正規職員	人数	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人		
		人件費	1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.0人	人	人	人	人	人		
		人件費								
	小計(C)	1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
	合計(D=(B+C))	2,315	2,359	2,363	2,363	2,363	2,363	2,363		
[収支]	一般財源充当額(D-A) (うち繰越金)	2,315	2,359	2,363	2,363	2,363	2,363	2,363		
	※前年度比	—	44	4	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	5. 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	放置自転車などが増え両駅前の良好な生活環境の保持が困難となる。	(概ね) 順調	
関与の妥当性	3. 国や他の市町と比較したとき、サービスの対象範囲や水準を見直す余地がある事業		協働の状況など
実施方法 (該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度 記載した 改善策		左記 改善策 への 取組状況	【状況】 【詳細】
現時点における課題 及び 課題に対する改善策	自転車の放置が後を絶たない状況にあり、当該事業の継続的な実施が必要とされている。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	岩野 孝裕	現状維持	駅前自転車等駐車場を設置し、維持管理することにより迷惑駐車を抑制することができる。未然に交通障害を防ぎ、街の美観と良好な生活環境の保持を図っていくためにも今後も事業の継続は必要である。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0167	暴力追放伊賀市民会議経費					01	02	01	20	158	01
	事業名	0167	暴力追放伊賀市民会議経費	所属	300100	総合危機管理室	連絡先(記入者) 奥田 泰也 22 - 9640					
基本施策	12	犯罪や交通事故を未然に防ぐ										

概要	事業概要	伊賀市民及び暴力追放に取り組み各種団体等が連携し、伊賀市からあらゆる暴力を排除することを目的とするものであり、そのための運営経費である。						事業期間							
								平成	18	年度	～	平成	年度		
	根拠法令・要綱等	伊賀市暴力団排除条例			審議会・委員会等		暴力追放伊賀市民会議								
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入					分掌事務番号		3					
	対象(誰を、何を)	市民、団体、企業等			※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値
成果(どうする)	暴力追放運動を拡げ、暴力がなく安全、安心に暮らせる。														
H24実施内容	暴力追放伊賀市民会議の開催(市内企業、団体等があらゆる暴力の追放を目的に一堂に会して会議を実施した。) 暴力追放伊賀市民会議事務局の運営 啓発の推進及び会員の拡大														

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明	
			H23		H24		H25	H26		
	活動指標	暴力追放伊賀市民会議の開催数	回	目標 1.0	実績 1.0	目標 1.0	実績 1.0	1.0	1.0	当該会議を開催し、参加者の意識の向上並びに啓発を行う。
	成果指標	会員数の増減	団体数	目標 175.0	実績 173.0	目標 210.0	実績 210.0	210.0	210.0	会員数増加により暴力追放に対する市民・各種団体企業の機運を図る

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									特記事項記入欄(積算基礎等)
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	
[支出]	負担金、補助及び交付金	500	500	500	500	500	500	500	500	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	事業費									
	その他事務経費									
	小計(B)	500	500	500	500	500	500	500	500	
	人件費									
正規職員	人数	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人		
人件費	1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155		
臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人		
	人件費									
	小計(C)	1,136	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	1,155	
	合計(D=(B+C))	1,636	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	1,636	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655	1,655	
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	19	0	0	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	6. 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
市民、団体、企業等の暴力団排除意識の更なる向上を図るために必要不可欠である。	(概ね)順調		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	○	負担金・補助金・交付金
	委託・指定管理(非公募・随意)		直接実施(契約・交付事務を除く)
	※委託内容及び委託先の存在 (暴力追放伊賀市民会議)		
昨年度記載した改善策	平成23年4月1日からの伊賀市暴力団排除条例の施行に伴い、啓発活動の取組み内容について、啓発物品配布以外の手法を検討する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 平成24年度は啓発物品配布以外の手法を行わなかった。
現時点における課題及び課題に対する改善策	課題:啓発活動については、会員に啓発物品を配布しているのみである。 改善策:限られた予算(50万円)の中で、最大限に効果的な事業を見極め、活動する必要がある。 現状、総合危機管理室で事務を所管しているが、本来、市民生活課で所管することが望ましいと考える。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	風早 孝昭	現状維持	暴力追放伊賀市民会議を継続して運営する。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0169	防犯事業経費					01	02	01	20	160	01
	事業名	12	犯罪や交通事故を未然に防ぐ	所属	300100	総合危機管理室	連絡先(記入者) 奥田 泰也 22 - 9640					

概要	事業概要	当市における防犯活動を促進し、市民が安全・安心して暮らせるまちとするため、関係団体の運営費を負担する。						事業期間					
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等						平成	18	年度	～	平成	年度
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号	3			
	対象(誰を、何を)	市民、団体、企業等						※対象件数					
	成果(どうする)	市民自らが活動主体となっている防犯団体等へ助成し、市民自らの手による活動により、地域全体の防犯力を高めることで市民が安全、安心に暮らせるまちづくりに繋がる。											
H24実施内容	伊賀地区防犯協会負担金【伊賀警察署内】 名張地区防犯協会負担金【名張警察署内】 自主防犯青色回転灯パトロール委員委嘱事務 伊賀地区防犯協会上野支部との連携(街頭啓発活動等)												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
	活動指標	回	H23	H24	H25	H26	1.0	1.0	
			目標	1.0	目標	1.0			
成果指標	自主防犯青色回転灯パトロール組織の拡大	回	目標	28.0	目標	28.0	28.0	28.0	普及啓発のための防災講演会の開催数。 住民自治区域数を分子とし、団体数を分子とする比率を指標とする。 (28地域)
			実績	28.0	実績	28.0			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
	[支出]	旅費	0	0	5	5	5	5	5	
		消耗品費	61	61	61	61	61	61	61	
		燃料費	24	27	27	27	27	27	27	
		伊賀地区防犯協会負担金	4,018	3,987	3,945	3,945	3,945	3,945	3,945	
名張地区防犯協会負担金		374	374	374	374	374	374	374		
みえ犯罪被害者総合支援センター負担金		249	244	0	0	0	0	0		
小計(B)		4,726	4,693	4,412	4,412	4,412	4,412	4,412	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
人件費	正規職員	人数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人		
	人件費	568	578	578	578	578	578	578		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数								
	人件費									
小計(C)	568	578	578	578	578	578	578			
合計(D=(B+C))	5,294	5,271	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	5,294	5,271	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	△ 24	△ 281	0	0	0	0		
対象者あたり一般財源充当額										

必要性	6. 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
市民、団体、企業等の防犯意識の更なる向上を図るために必要不可欠である。	(概ね)順調		
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	○	負担金・補助金・交付金
	委託・指定管理(非公募・随意)		直接実施(契約・交付事務を除く)
	※委託内容及び委託先の存在 (伊賀地区防犯協会、名張地区防犯協会)		
昨年度記載した改善策	平成23年度中に、伊賀地区防犯協会本部での予算の一元化を図るため、関係機関と詳細について協議を行う。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 伊賀地区防犯協会本部での予算の一元化を図った。
現時点における課題及び課題に対する改善策	課題: 自主防犯青色回転灯パトロール組織の結成率が低い。 改善策: 自主防犯青色回転灯パトロール組織未結成地区に対し、結成を働きかける。 現状、総合危機管理室で事務を所管しているが、本来、市民生活課で担当することが望ましいと考える。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	風早 孝昭	現状維持	地域防犯活動及び犯罪被害者支援活動に対し、引き続き負担する必要がある。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	事業名	0176 防犯事業経費(みえ犯罪被害者総合支援センター負担金支出)					01	02	01	20	160	01
	基本施策	12 犯罪や交通事故を未然に防ぐ	所属		100100	名称	人権生活環境部市民生活課		連絡先(記入者) 服部 禎亮 22 - 9638			

概要	事業概要	公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センターへ負担金を支出するとともに、犯罪被害者の相談窓口として、必要な情報提供を行う等、犯罪被害者本人及びその家族の心のケアに努める。						事業期間			
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等						平成	年度 ~ 平成	年度	
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		
	対象(誰を、何を)	犯罪被害にあった伊賀市住民及びその家族等						※対象件数			
	成果(どうする)	犯罪被害者支援に関する活動等を実施する団体への助成により、市民が安全、安心に暮らせるまちづくりに資することに繋がる。									
H24 実施内容	公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センターへの負担金を支出										

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
	活動指標	犯罪被害者支援関係研修会への参加	回	目標 1.0 実績 0.0	目標 1.0 実績 2.0	1.0	1.0		
	成果指標	犯罪被害者支援に関する啓発活動等への参加	回	目標 1.0 実績 0.0	目標 1.0 実績 0.0	1.0	1.0		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額			
	[収入]	使用料・手数料									
		国費 (補助率)									
		県費 (補助率)									
		地方債									
		その他									
		合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	事業費	負担金、補助及び交付金	249	249	244	244	244	244	244	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
			小計(B)	249	249	244	244	244	244	244	
		人件費	正規職員	人数 0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
		人件費	568	578	578	578	578	578	578		
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
	人件費										
	小計(C)	568	578	578	578	578	578	578			
	合計(D=(B+C))	817	827	822	822	822	822	822	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	817	827	822	822	822	822	822			
	(うち繰越金) ※前年度比	—	10	△5	0	0	0	0			
	対象者あたり一般財源充当額										

必要性	6. 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	犯罪被害者に対する支援活動に支障をきたすことが考えられる。	(概ね) 順調	
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法 (該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	○	負担金・補助金・交付金
	委託・指定管理(非公募・随意)		直接実施(契約・交付事務を除く)
※委託内容及び委託先の存在			
昨年度記載した改善策	左記改善策への取組状況		【状況】 【詳細】
現時点における課題及び課題に対する改善策	犯罪被害者に関する相談窓口の周知を図るとともに、研修会等へ積極的な参加により、必要な情報収集に努める。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	大橋久和	現状維持	犯罪被害者支援に関する活動等を実施する団体への財政支援により、安全、安心に暮らせるまちづくりに繋がるものと思われるため、継続することが必要である。